

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎社会福祉一般の経費

社会福祉運営事業

【 福祉政策課・生活福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 部内各課の事務事業の執行を支援するため。

効果 施策推進のための後方支援の体制が確保される。

【事業の内容】

(1) 社会福祉運営事業

- ・社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器借料や保守に係る経費を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,397	20,397	20,151		246
主な支出内訳				
・社会福祉運営事業				
福祉総合システム等消耗品費				1,059
福祉総合システムソフトウェア保守委託料				5,050
緊急援護貸付事業委託料				430
生活保護システム接続業務等委託料				454
福祉総合システム機器借料				12,562
福祉総合システム増設用パソコン機器購入費				557
主な特定財源				
・国県支出金				33

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎社会福祉一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

こどもみらい部のうち発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉政策課・生活福祉課(保護担当を除く)

・高齢者いきいき課(介護保険担当を除く)・障害者福祉課・保険年金課(年金担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			336,779
・ 給料	一般職		153,738
	一般職職員	39人	
	再任用(短時間)	1人	
・ 職員手当等			132,835
	扶養手当		4,076
	地域手当		24,482
	通勤手当		4,503
	超過勤務手当		22,211
	休日給		344
	管理職手当		4,984
	特殊勤務手当		607
	期末勤勉手当		62,489
	住居手当		6,650
	管理職員特別勤務手当		0
	児童手当		110
	子ども手当		2,379
・ 共済費			50,206
	市町村職員共済組合負担金		50,160
	雇用保険料		46

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

民生委員児童委員活動推進事業

【

福祉政策課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【事業の内容】

(1) 民生委員児童委員活動推進事業

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,450	39,450	39,011		439
主な支出内訳				
・ 民生委員児童委員活動推進事業				
民生総務嘱託員報酬 20人				3,672
民生嘱託員報酬 203人				29,667
民生委員推薦会報酬 4人				43
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
民生委員・児童委員協議会補助金				3,464
主な特定財源				
・ 国県支出金				14,084

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会福祉協議会支援事業

【

福祉政策課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 事業補助を行うことにより社会福祉協議会の財政基盤を安定させる。

【事業の内容】

(1) 社会福祉協議会支援事業

- ・社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,749	63,749	63,749		0

主な支出内訳

- ・社会福祉協議会支援事業

鎌倉市社会福祉協議会補助金

63,749

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会を明るくする運動事業

【

福祉政策課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉地区保護司会及び市民

意図 「社会を明るくする運動」を通じて、犯罪や非行のない明るい社会を築くため。

効果 犯罪や非行を犯した人達の更生援助と少年非行の防止活動を行い、明るい市民生活の実現を目指す。

【事業の内容】

(1) 社会を明るくする運動事業

- ・ポスターコンテストや講演会などを保護司会とともに行った。
- ・更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
298	298	298		0
主な支出内訳				
・社会を明るくする運動事業				
ポスターコンテスト消耗品費				11
保護司会補助金				287

◎援護の経費

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 戦没者の遺族と市民

意図 戦没者の追悼と、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活を援護し、保障する。

【事業の内容】

(1) 戦傷病者戦没者遺族等援護事業

- ・戦没者の追悼式典を遺族などの方々で行った。
- ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務などを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
887	887	754		133

主な支出内訳

・戦傷病者戦没者遺族等援護事業

戦没者追悼式参列者記念品 160

戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料 58

戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料 231

戦没者追悼式会場使用料 0

鎌倉市遺族会補助金 190

主な特定財源

・国県支出金 108

◎援護の経費

原爆被爆者援護事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市被爆者の会及び原子爆弾被爆者

意図 原子爆弾被爆者に対し、援護を行うため。

効果 原子爆弾被爆者の生活の安定及び福祉の増進を図る。

【事業の内容】

(1) 原爆被爆者援護事業

- ・鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,289	4,289	4,051		238

主な支出内訳

・原爆被爆者援護事業

鎌倉市被爆者の会補助金

89

被爆者援護手当 167人

3,962

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

行旅病人死亡人援護事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【事業の内容】

(1) 行旅病人死亡人援護事業

- ・行旅病人の援護を行う。(平成22年度は援護対象者なし。)
- ・行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,127	1,127	786		341
主な支出内訳				
・行旅病人死亡人援護事業				
行旅死亡人遺骨保管謝礼				92
行旅死亡人官報公告掲載料 (2件)				29
行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料 (3件)				665
主な特定財源				
・国県支出金				437

◎援護の経費

中国残留邦人等支援事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【事業の内容】

(1) 中国残留邦人等支援事業

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない方などに対して、生活支援給付金を支給する。(平成22年度は対象者なし。)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10
主な支出内訳				
・中国残留邦人等支援事業 生活支援扶助費				0

◎援護の経費

住宅手当緊急特別措置事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 2年以内に離職した者で、就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者

意図 住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うため。

効果 対象者が住宅の確保等の支援を受けながら、再就職の実現に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 住宅手当緊急特別措置事業

- ・対象者に住宅手当を支給した。
- ・住宅確保・就労支援員による就労確保のための支援などを行うことにより、常用就職に向けた援助を行った。

【事業費】

(単位:千円)

【事業費】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,707	33,707	21,145		12,562
主な支出内訳				
・住宅手当緊急特別措置事業				
住宅確保・就労支援員報酬 2人				2,462
住宅確保・就労支援員費用弁償				178
住宅手当扶助費 単身世帯 46世帯				18,426
複数世帯 25世帯				
主な特定財源				
・国県支出金				21,145

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎保健福祉政策の経費

啓発事業

【 福祉政策課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の推進
地域福祉の推進

【事業の目的】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【事業の内容】

(1) 啓発事業

- ・高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。
- ・福祉有償運送事業に関する事務を行った。
- ・市社会福祉協議会との協働事業として、地域福祉支援室を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域福祉の推進(7-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,226	5,226	4,997		229

主な支出内訳

・啓発事業

高齢者保健福祉計画等推進委員会委員報償費	246
地域福祉支援室事業負担金	4,750

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国民健康保険高額療養資金貸付事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市国民健康保険の被保険者の属する世帯

意図 高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けるため。

効果 被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。

【事業の内容】

(1) 国民健康保険高額療養資金貸付事業

- ・高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けを行うものであるが、申請者がいないため執行しなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100	100	0		100

主な支出内訳

- ・国民健康保険高額療養資金貸付事業
国民健康保険高額療養資金貸付金

0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国保組合支援事業

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【事業の内容】

(1) 国保組合支援事業

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人あたりに100円を補助金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
126	126	118		8

主な支出内訳

・ 国保組合支援事業

県建設連合国保組合補助金

71

県建設業国保組合補助金

47

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 10社会福祉施設費

◎福祉センターの経費

福祉センター管理運営事業

【

福祉政策課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【事業の内容】

(1) 福祉センター管理運営事業

- ・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,692	43,272	42,497		775
主な支出内訳				
・福祉センター管理運営事業				
維持管理用消耗品費				377
光熱水費				11,072
維持修繕料				2,935
消防設備・非常用警報(放送)設備保守点検手数料				200
自家用電気工作物保守点検手数料				185
熱源機器保守点検手数料				908
昇降機保守点検手数料				668
受水槽法定点検等手数料				479
総合管理業務委託料				24,765
警備業務委託料				277
自動ドア保守点検委託料				187
電話設備保守点検委託料				139
樹木伐採業務等委託料				203

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者福祉運営事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者福祉運営事業

- ・ 障害者福祉計画等の進行管理を行った。
- ・ 障害者福祉計画の改定に必要な基礎資料把握のためのアンケート調査を行った。
- ・ 障害者自立支援法の執行管理等を行った。
- ・ 障害者団体等への支援を行った。
- ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・ 失語症等成人中途言語障害者への支援を市民活動団体と協働して行った。

(2) 障害者生活支援事業

- ・ 施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当等を対象者に給付し、障害者の生活の安定及び福祉の向上を図った。

(3) 外国籍等障害者福祉給付金支給事業

- ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給し、福祉の向上を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者福祉計画の改定と推進(4-1-2-⑦)

障害者の相談支援体制の充実(4-1-2-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
276,907	278,950	265,736		13,214
主な支出内訳				
・ 障害者福祉運営事業				
総合相談窓口非常勤嘱託員報酬	5人			5,040
障害者介護給付費等審査会委員報酬	15人			2,945
支援費等事務補助臨時的任用職員賃金				1,070
地域自立支援協議会報償				410
障害者福祉計画推進委員会報償				124
障害者施設訪問歯科検診報償				950
自立支援法医師意見書作成手数料				774
支援費等支払システム運営手数料				2,461
成年後見市長申立手数料				8
手話通訳者等保険料				17

障害者地域活動支援センター運営事業委託料	3ヶ所	62,152
支援費等支払システム機器保守等委託料		0
自立支援法対応システム改修委託料		0
障害者相談支援事業運営委託料		11,020
障害者福祉計画点字版等作成委託料		0
成年後見制度利用支援業務委託料		500
ケアマネジメント業務等委託料		186
障害者福祉に関するアンケート調査委託料		2,373
県雇用開発協会負担金		0
失語症等成人中途言語障害者支援事業負担金		404
鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金		166
鎌倉市身体障害者福祉協会補助金		166
青い麦の会事業運営費補助金		144
鎌倉市手をつなぐ育成会補助金		261
鎌倉市腎友会補助金		45

・ 障害者生活支援事業		
扶養共済掛金助成費		2,515
施設等通所者交通費助成費		33,493
特別障害者手当等		31,621
福祉手当		104,880

・ 外国籍等障害者福祉給付金支給事業		
福祉給付金		312

主な特定財源

・ 国県支出金		28,445
---------	--	--------

扶養共済掛金助成費

全額助成した者	延	56 人	(6 人)	308 千円
半額助成した者	延	394 人	(35 人)	2,207 千円
計	延	450 人	(41 人)	2,515 千円

施設等通所者交通費助成費

更生施設	延	265人	(23人)	2,312 千円
授産施設	延	321人	(29人)	2,634 千円
地域作業所	延	588人	(68人)	3,693 千円
指定医療機関	延	9人	(2人)	138 千円
就労支援	延	1,996人	(207人)	15,422 千円
生活介護	延	801人	(68人)	9,294 千円
計	延	3,980人	(397人)	33,493 千円

福祉手当

国の制度	月額	14,380 円	障害児福祉手当及び経過措置分福祉手当
		26,440 円	特別障害者手当
	延人員	1,476 人 (140人)	31,621 千円
		国庫	23,651 千円
市の制度	月額 2,400円～3,300円		
	延人員	42,391 人 (7,241人)	104,880 千円
		計	136,501 千円

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者施設福祉事業

【

障害者福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 障害者等の身体機能の回復及び職能訓練、更生に必要な日常生活訓練及び職業の提供等を行い障害者の自立更生を支援するため。

効果 障害者等の自立更生・社会参加の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者施設福祉事業

- ・施設入所・通所している障害者等への施設訓練費等の支給を行った。
- ・障害者の更生に係る訓練費の支給を行った。
- ・進行性筋萎縮症者に対する身体機能の維持を図るための治療、訓練に係る費用の支給を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
526,589	463,764	373,255		90,509
主な支出内訳				
・ 障害者施設福祉事業				
知的障害者施設入所・通所者支援費等 延	1,901人			215,832
身体障害者施設入所・通所者支援費等 延	36人			8,214
知的障害者通勤寮入所費 延	30人			2,297
更生訓練費 延	12人			41
療養介護給付費 延	26人			6,373
施設入所補足給付等				126,618
自立訓練給付費				10,736
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				322,712

自立支援給付支給事業

自立支援給付支給事業				
障害福祉サービス給付費等	施設訓練等給付	身体障害入所更生施設	24 件	4,186,111 円
		身体障害療護施設	12 件	4,028,283 円
		身体障害通所授産施設	0 件	0 円
		知的障害入所更生施設	342 件	84,211,685 円
		知的障害通所更生施設	737 件	56,191,297 円
		知的障害入所授産施設	24 件	5,981,366 円
		知的障害通所授産施設	798 件	69,447,857 円
		知的障害通勤寮	30 件	2,297,153 円
	療養介護	26 件	6,372,640 円	
	自立訓練	87 件	10,736,129 円	
	施設入所支援	1105 件	106,515,604 円	
	施設入所補足支援	－ 件	20,102,460 円	
	合 計	3,185 件	370,070,585 円	
			国庫	222,223 千円
			県費	90,103 千円

◎障害者福祉の経費

障害者在宅福祉事業

【 発達支援室・障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等に福祉サービスを提供し、在宅生活の向上と日常生活の利便性を図るため。

効果 障害者等が地域の中で自立した生活を送る。

【事業の内容】

(1) 障害者在宅福祉事業

- ・ 障害者がホームヘルプサービス等の居宅サービスを利用した場合に居宅介護給付等の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ デイサービスでの入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ 難病患者等へのホームヘルプサービスは、対象者がいなかったため執行しなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者グループホーム等への支援(4-1-2-②)

障害児通園支援(4-1-2-⑭)

低所得障害者への支援(4-1-2-⑮)

通所サービス事業への支援(4-1-2-⑰)

在宅重度身体障害者生活介護支援(4-1-2-⑱)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
843,966	1,021,452	1,005,031		16,421
主な支出内訳				
・ 障害者在宅福祉事業				
身体障害者訪問入浴サービス事業委託料				3,399
難病患者等ホームヘルプサービス事業委託料				0
精神障害者ホームヘルプサービス事業委託料				0
重度障害者住宅設備改造費補助金				1,321
障害者グループホーム家賃費補助金				5,748
在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金				9,498
在宅精神障害者社会復帰対策推進事業費補助金				0
通所サービス利用促進事業補助金				8,250
地域生活サポート事業補助金				5,337
日常生活用具給付費				26,007
補装具給付費				32,124
更生医療給付費				95,760
短期入所費				39,663

居宅介護支援給付費	76,408
生活介護給付費	487,564
グループホーム等入居費	113,794
移動介護給付費	69,729
利用助成費	748
自立支援法サービス利用計画作成費	321

主な特定財源

・ 国県支出金	680,282
---------	---------

重度障害者住宅設備改造費補助金
助成状況(改造内容別件数)

住宅設備改良(改良箇所重複あり)			4件
浴室	1ヵ所	玄関	0ヵ所
便所	1ヵ所	廊下	1ヵ所
台所	0ヵ所	その他	1ヵ所
		県費	660 千円

日常生活用具給付費
品目別給付状況

電気式たん吸引器	10 件
拡大読書器	2 件
介護用ベッド	2 件
入浴補助具	3 件
聴覚障害者用通信装置	2 件
ストマ用装具	2,451 件
その他	23 件
合 計	2,493 件

身体障害児者補装具交付事業

補装具交付(修理)及び自己負担額扶助状況 千円

区 分 名 称	交付			修理		
	公費負担		自己負担額扶助	公費負担		自己負担額扶助
	件数	金額	金額	件数	金額	金額
義肢	9	4,618	159	8	1,521	187
装具	78	8,076	1,450	43	842	52
補聴器	60	3,091	346	19	271	24
車いす	27	4,980	1,065	44	1,819	180
その他	33	2,547	830	3	64	2
合計	207	23,312	3,850	117	4,517	445
国庫				16,343 千円		
県費				7,253 千円		

更生医療給付費
給付利用者の状況

じん臓機能障害	30 人
肢体不自由	1 人
その他	6 人
計	37 人 延 521 人

自立支援給付支給事業

障害福祉サービス給付費等	地域生活支援事業	日中一時支援	37 件	546,412 円
		経過的デイサービス	0 件	0 円
		移動支援	2,558 件	69,728,545 円
		地域活動支援センター	12 件	778,600 円
		居宅介護(身体・知的・児童・精神)	1,237 件	76,408,248 円
		重度訪問介護	6 件	2,754,355 円
		行動援護	149 件	4,673,385 円
		生活介護	2,847 件	487,563,926 円
		児童デイサービス	68 件	3,697,814 円
		短期入所(身体・知的・児童)	783 件	39,663,182 円
		県単独短期入所加算	363 件	6,572,800 円
		共同生活介護	1,200 件	106,284,321 円
		共同生活援助	154 件	7,509,901 円
		相談支援	24 件	321,180 円
		合 計	9,438 件	806,502,669 円
			国庫	357,473 千円
			県費	201,908 千円

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者社会参加促進事業

【

障害者福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者社会参加促進事業

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・手話通訳者を週3回、半日、障害者福祉課窓口配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、養成講座等を開催した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方への自動車運転訓練費の助成は、対象者がいなかったため執行しなかった。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

福祉タクシー券・ガソリン券等の交付(4-1-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,220	41,679	37,213		4,466
主な支出内訳				
・ 障害者社会参加促進事業				
手話通訳嘱託員報酬 1人				744
手話通訳者等派遣報償費				1,726
手話講習会等開催委託料				1,254
障害者ふれあいフェスティバル開催等委託料				350
手話通訳者派遣業務委託料				28
身体障害者自動車改造費助成費				360
身体障害者自動車運転訓練費助成費				0
福祉タクシー利用料金等助成費				31,497
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				2,209
福祉タクシー利用料金等助成事業利用状況				
タクシー利用券	延 36,593 枚	1,197 人	18,512 千円	
自動車燃料費助成券	延 8,474 枚	821 人	12,711 千円	
バス共通カード購入助成券	延 0 枚	0 人	0 千円	
福祉有償運送助成券	延 914 枚	39 人	274 千円	
		合 計	31,497 千円	

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者就労支援事業

【

障害者福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 一般就労が困難な障害者等に作業・生活訓練を行い、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場の確保

【事業の内容】

(1) 障害者就労支援事業

- ・ 在宅の障害者を雇用する事業主に雇用報奨金を支給した。
- ・ 雇用の促進と就労の安定化を図るため、就労後の定着支援事業を行った。
- ・ 一般就労が困難な障害者に作業・生活訓練をし、地域社会の一員として生活できるように指導するため、障害者地域作業所等に運営費等を補助し支援を行った。
- ・ 就労支援のための訓練等給付費を支給した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者地域作業所等への支援(4-1-2-③)

障害者の就労支援体制の充実(4-1-5-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
395,472	415,004	366,528		48,476
主な支出内訳				
・ 障害者就労支援事業				
障害者雇用報奨金				19,064
雇用促進対策事業報償				419
就労後アフターケア事業委託料				2,500
知的障害者地域作業所指導事業費補助金 3か所				33,880
身体障害者地域作業所指導事業費補助金 4か所				45,800
精神障害者地域作業所指導事業費補助金 2か所				26,135
地域生活サポート事業補助金(余暇活動支援事業)				1,000
障害者訓練等給付事業所家賃助成補助金				8,400
訓練等給付費				228,896
主な特定財源				
・ 国県支出金				
221,856				
在宅障害者地域作業所補助金				
家賃費補助金		10,440 千円		
運営費補助金		95,375 千円		
計		105,815 千円		
	県費	40,523 千円		

◎発達支援の経費

発達支援事業

【

発達支援室

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 おおむね18歳までの障害児等

意図 ライフサイクルにそって、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【事業の内容】

(1) 発達支援事業

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児者の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業を行う団体へ補助金を交付した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業を行う「障害児活動支援センター」の運営を指定管理者に委託した。

(2) 特別支援保育助成事業

- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害児放課後・余暇支援事業の推進(4-1-2-⑥)

発達障害児者への支援(4-1-2-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,113	55,480	54,330		1,150
主な支出内訳				
・発達支援事業				
訓練指導嘱託員報酬				
理学療法士	2人			4,851
言語聴覚士	5人			9,775
臨床心理士等	3人			6,051
保育士	1人			1,037
作業療法士	2人			2,254
嘱託医報酬				
小児神経科医師	1人			791
整形外科医師	1人			791
リハビリテーション医師	1人			1,516
児童等の発達を支援するためのサービス検討委員会委員報償費				143
講演会等講師謝礼				100
障害児放課後・余暇支援事業委託料				9,450
障害児放課後・余暇支援事業補助金				9,065
・特別支援保育助成事業				
特別支援保育運営費補助金				7,014

発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	110人
	言語聴覚相談	115人
	リハビリ相談	73人
発達支援指導	発達指導	58人(延708人)
	心理指導	3人(延35人)
	言語聴覚指導	110人(延1,243人)
	リハビリ指導	53人(延1,032人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	115回(延291人)
	言語聴覚相談	59回(延125人)
	リハビリ相談	35回(延70人)
母子グループ指導		42人(延327人)

障害児放課後・余暇支援事業

事業所名	実施状況	
障害児活動支援センター	開所日数	309日
	登録者数	102人
	延利用者数	2,055人
のんびりスペース★大船	開所日数	240日
	登録者数	87人
	延利用者数	2,092人

特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	13 園	30人

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者医療の経費

心身障害者医療助成事業

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 心身障害者医療助成事業

- 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳1～2級を持つ障害者等(一部所得制限あり)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
702,265	702,265	648,681		53,584
主な支出内訳				
・心身障害者医療助成事業				
臨時的任用職員賃金				275
医療助成事務用消耗品費				40
受診証印刷製本費				13
診療報酬明細書印刷製本費				7
審査支払手数料				7,096
医療費扶助				641,250
主な特定財源				
・国県支出金				
				133,218
助成件数				
一般保険分	延 55,414件	月平均対象者	2,521人	
後期高齢者医療・				
老人保健医療分	延 57,536件	月平均対象者	1,881人	

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎通所更生授産施設の経費

はまなみ運営事業

【

障害者福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 知的障害者

意図 知的障害者の更生に必要な日常生活訓練及び職業の提供等を行い障害者の自立更生を支援するため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。

【事業の内容】

(1) はまなみ運営事業

- ・ 鎌倉はまなみの効率的かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。
- ・ 指定管理事業の更新のため、事業者選定を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,115	44,115	43,350		765

主な支出内訳

・ はまなみ運営事業

指定管理事業者選定委員会報償

36

設備維持管理料

0

鎌倉はまなみ指定管理料

43,251

下水道使用料負担金

63

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎障害者施設の経費

障害者施設管理運営事業

【

発達支援室

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害児等

意図 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【事業の内容】

(1) 障害者施設管理運営事業

・ 障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,634	1,634	1,311		323

主な予算内訳

・ 障害者施設管理運営事業

障害児放課後・余暇支援施設光熱水費

1,189

電信料

63

ケーブルテレビ使用料

59

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者施設福祉事業

- ・ 養護老人ホーム等の入所判定を行った。
- ・ 特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・ 養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,866	50,866	46,028		4,838

主な支出内訳

・ 高齢者施設福祉事業

高齢者サービス検討委員会委員等報償費

104

特別養護老人ホーム(プライエムきしろ)土地賃借料

2,207

施設入所者措置費 27人

43,717

措置状況

施設名	延人数(人)	実人数(人)	措置費(千円)
藤沢養護老人ホーム	48	4	7,294
敬愛の園	36	3	6,827
湘風園	8	1	988
えびな南養護老人ホーム	36	3	6,726
ひとみ園	12	1	1,607
相模原養護老人ホーム	28	4	5,525
美山ホーム	67	6	10,917
平塚養護老人ホーム	12	1	2,142
横須賀養護老人ホーム	5	1	1,371
やむを得ない事由による措置	8	3	320
計	260	27	43,717

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者在宅福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 65歳以上の高齢者

意図 高齢者に対し、食、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者在宅福祉事業

- ・ひとり暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸し出しを行った。
- ・低所得でかつ調理が困難等の高齢者に夕食を届けるサービスを行った。
- ・寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・成年後見制度に関する相談業務、普及・啓発活動を行った。
- ・低所得の高齢者に対する、成年後見申立に係る費用の一部助成は、対象者がいなかったため行わなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,212	29,849	29,502		347

主な支出内訳

・ 高齢者在宅福祉事業

成年後見市長申立手数料	218
緊急通報システム事業委託料	19,078
配食サービス事業委託料	9,603
訪問理美容サービス事業委託料	21
成年後見相談等業務委託料	500
成年後見制度利用支援補助金	0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【事業の内容】

(1) 高齢者生活支援事業

- ・障害者自立支援法によるホームヘルプを受けていた低所得の方に対する、訪問介護利用者負担分の軽減は、対象者がいなかったため行わなかった。
- ・要介護3～5の認定者、要支援1・2または要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつ等を支給した。
- ・認知症等の方が急にショートステイが必要になった場合に、円滑な利用ができる仕組みづくりを研究するためモデル事業を実施した。
- ・社会福祉法人が運営する施設等の利用者で生活が困難な方に対し、利用者負担分を軽減した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙おむつの支給(4-1-2-①)

認知症緊急ショートステイ受け入れ(4-1-2-22)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,508	14,508	12,587		1,921
主な支出内訳				
・ 高齢者生活支援事業				
訪問介護軽減審査等支払手数料				0
紙おむつ等支給事業委託料				9,297
特別ショートステイモデル事業委託料				3,285
社会福祉法人等利用者負担額軽減制度事業補助金				5
訪問介護利用者負担軽減措置事業扶助費				0
主な特定財源				
・ 国県支出金				3

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者施設整備事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 社会福祉法人等

意図 施設整備することで、入所待機者の解消と施設の安全性を確保するため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者施設整備事業

- ・ 関谷の特別養護老人ホームの整備費用を助成した。当初予定していた進捗率に達しなかったため、一部翌年度に繰越しを行った。
- ・ 認知症高齢者グループホームのスプリンクラー整備費用を助成した。平成19年の消防法改正により、既存の認知症高齢者グループホームにスプリンクラー等の設置が必要な施設面積が変更になったことを受け、その経費に対し1㎡につき9,000円を限度として、該当した3つの事業所に助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の整備(4-1-2-⑳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,571	64,615	34,615	30,000	0
主な支出内訳				
・ 高齢者施設整備事業				
特別養護老人ホーム整備費補助金(翌年度へ一部繰越明許費)				20,000
認知症高齢者グループホームスプリンクラー整備費補助金				14,615
主な特定財源				
・ 国県支出金				14,615

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

高齢者活動運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 100歳以上の者及び公的年金を受給することができない外国籍市民の高齢者

意図 長年にわたり社会に貢献した高齢者に対して敬愛の意と長寿を祝し、また公的年金を受給できない外国籍市民に給付金を支給することにより福祉の向上を図るため。

効果 長寿のお祝いをすること及び外国籍無年金高齢者の福祉の向上

【事業の内容】

(1) 高齢者活動運営事業

- ・長寿のお祝いとして100歳以上の高齢者に対し、祝品を贈った。

(2) 外国籍等高齢者福祉給付金支給事業

- ・受給者に、月額20,000円を年2回(9月・3月)支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,624	3,624	3,001		623
主な支出内訳				
・ 高齢者活動運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
敬老祝品 100歳以上 96人				480
・ 外国籍等高齢者福祉給付金支給事業				
福祉給付金				1,200
主な特定財源				
・ 国県支出金				756

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

社会参加・生きがい対策事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者

意図 高齢者の外出機会の増の支援等を図るため。

効果 高齢者の健康維持及び介護予防を図る。

【事業の内容】

(1) 社会参加・生きがい対策事業

- ・ 65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・ デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。
- ・ 老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

(2) 高齢者活動サービス事業

- ・ 75歳以上の方を対象に市内に路線があるバス会社、江ノ島電鉄、湘南モノレールの乗車証等を購入する際に助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

高齢者活動サービスの充実(4-1-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,510	66,388	64,708		1,680
主な支出内訳				
・ 社会参加・生きがい対策事業				
高齢者入浴助成事業委託料				17,605
デイ銭湯事業委託料				17,439
いきいきサークル事業委託料				4,792
老人クラブ運営費補助金 79クラブ				5,143
老人クラブ連合会補助金				1,744
・ 高齢者活動サービス事業				
高齢者割引乗車証等購入費補助金				16,320
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,865

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

シルバー人材センター支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【事業の内容】

(1) シルバー人材センター支援事業

- ・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。

(2) シルバー人材センター事業所移設事業

- ・事務所の運営に係る経費を補助した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

シルバー人材センター事業所の移設(4-1-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,833	63,833	62,627		1,206
主な支出内訳				
・シルバー人材センター支援事業				
シルバー全国連絡協議会負担金				50
県シルバー人材センター協議会負担金				60
シルバー人材センター運営費補助金				50,683
シルバー人材センター運転資金貸付金				7,000
・シルバー人材センター事業所移設事業				
シルバー人材センター事務所補助金				4,834

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

在宅福祉サービスセンター管理運営事業

高齢者いきいき課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

【事業の内容】

(1) 在宅福祉サービスセンター管理運営事業

- ・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,387	46,650	43,813		2,837
主な支出内訳				
・ 在宅福祉サービスセンター管理運営事業				
維持管理用消耗品費				267
光熱水費				17,418
維持修繕料				3,974
備品修繕料				92
電信料				353
自家用電気工作物保守点検手数料				397
消防設備器具保守点検手数料				621
受水槽保守点検手数料				306
昇降機保守点検手数料				1,748
ボイラー保守点検手数料				357
空調保守点検手数料				490
冷温水発生機保守点検手数料				1,077
熱交換器保守点検手数料				363
貯湯槽保守点検手数料				137
給水装置等定期点検手数料				63
総合管理業務委託料				14,545
警備業務委託料				401
自動ドア保守点検業務委託料				283
グリストラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料				265
厨房送風機保守点検業務委託料				80
樹木伐採業務委託料				53
害虫駆除業務委託料				523

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

老人センター等管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【事業の内容】

(1) 老人センター等管理運営事業

- ・名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び老人いきいの家こゆるぎ荘の管理運営業務を、指定管理者に委託した。
- ・前年度からの繰越明許費により、名越やすらぎセンター擁壁改修修繕を行った。
- ・名越やすらぎセンター外壁補修は、平成23年度に実施するため、翌年度に繰越しを行った。
- ・こゆるぎ荘屋根修繕は、平成23年度に実施するため、翌年度に繰越しを行った。
- ・各センターの施設修繕を行った。
- ・平成23年度から5年間に亘る指定管理者の選定を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
186,196	205,472	190,384	12,915	2,173
主な支出内訳				
・老人センター等管理運営事業				
指定管理選定委員報償				96
維持修繕料				16,136
名越やすらぎセンター擁壁改修修繕(前年度からの繰越明許費)				5,933
名越やすらぎセンター外壁補修(翌年度への繰越明許費)				0
こゆるぎ荘屋根修繕(翌年度への繰越明許費)				0
老人福祉センター等指定管理委託料				168,219
主な特定財源				
・国県支出金				5,933

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 35国民年金事務費

◎国民年金事務の経費

国民年金事務

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定がそこなわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【事業の内容】

(1) 国民年金事務

- ・資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請及び老齢福祉年金諸届等の受理・審査並びに外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談などを行った。
- ・特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査などを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
807	807	636		171
主な支出内訳				
・国民年金事務				
臨時的任用職員賃金				200
国民年金事務用消耗品費				233
電子複写機賃借料				193
主な特定財源				
・国県支出金				626

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎児童福祉一般の経費

児童福祉運営事業

【 こどもみらい課・保育課他 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【事業の内容】

(1) 児童福祉運営事業

- ・児童福祉審議会を開催しなかった。
- ・こどもと家庭に関する総合相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。
- ・相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。

(2) 遺児福祉基金積立金

- ・寄附金を遺児福祉基金に積立てた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

こどもと家庭の相談事業の推進(4-1-4-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,926	21,101	18,174		2,927
主な支出内訳				
・児童福祉運営事業				
児童福祉審議会委員報酬				0
保健衛生担当嘱託員報酬 4人				4,070
事務補助嘱託員報酬 5人				4,200
こどもと家庭の相談室相談員報酬 4人				7,488
要保護児童相談助言者謝礼				80
非常勤嘱託員等費用弁償				1,010
養育支援訪問事業委託料				436
こどもと家庭の相談室用パソコン賃借料				93
・遺児福祉基金積立金				
遺児福祉基金利子積立金				18
遺児福祉基金寄付積立金				130
主な特定財源				
・国県支出金				
				2,506
こどもと家庭の相談室の相談状況				
相談件数	1,642件			
うち新規相談	458件			
(うち新規虐待件数(疑いを含む)206件)				
うち継続相談	1,184件			

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎児童福祉一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

こどもみらい部(青少年課及び発達支援室発達相談担当の一部を除く)
健康福祉部保険年金課(医療給付担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			1,213,631
・ 給料	一般職		574,523
	一般職職員	147人	
	再任用(短時間)	3人	
・ 職員手当等			426,208
	扶養手当		9,867
	地域手当		88,404
	通勤手当		12,130
	超過勤務手当		50,235
	休日給		145
	管理職手当		4,969
	特殊勤務手当		991
	期末勤勉手当		229,824
	住居手当		24,434
	管理職員特別勤務手当		0
	児童手当		360
	子ども手当		4,849
・ 共済費			212,900
	市町村職員共済組合負担金		189,101
	社会保険料		19,820
	雇用保険料		3,979

◎子育て支援の経費

子育て支援事業

【 こどもみらい課・こども相談課他 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【事業の内容】

(1) 子育て支援事業

- ・子育て家庭に情報提供をするために子育て支援コンシェルジュを配置した。
- ・一日冒険遊び場、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどを開催した。
- ・子育て中の親子に対し身近に集える場を提供し、親子同士が気軽に交流できるようにした。
- ・子育て支援施設の巡回及び周辺パトロールを行い、児童の安全対策を図るため、こども安全パトロール員を配置した。
- ・子育て中の保護者の病気、出産、育児不安などにより、児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護を行った。

(2) 在宅子育て家庭支援事業

- ・妊娠中の方や小学生までの子どもがいる家庭を対象に、ファミリーサポートセンターの機能を活用して家事支援を実施し子育て負担の軽減を図った。また、ファミリーサポートセンター以外の事業者を利用した場合にも利用料の助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援の充実(4-1-4-①)

在宅子育て家庭の支援(4-1-4-⑤)

短期入所生活援助(ショートステイ)事業の実施(4-1-4-⑬)

つどいの広場の整備(4-1-4-21)

こども安全パトロールの実施(4-1-4-22)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,371	30,361	29,109		1,252
主な支出内訳				
・ 子育て支援事業				
こども安全パトロール員報酬 12人				14,515
子育て支援コンシェルジュ謝礼				2,346
こども安全パトロール車燃料費				1,099
子育て支援行事等実施委託料				475
子育て親子講座実施委託料				572
つどいの広場事業実施委託料				2,999
子育て短期支援事業業務委託料				56
・ 在宅子育て家庭支援事業				
在宅子育て家庭支援事業委託料				2,610
在宅子育て家庭支援事業利用料補助金 利用料助成人数383人				2,474

主な特定財源
・ 国県支出金

3,346

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

次世代育成支援対策推進事業

【

こどもみらい課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 市民が安心して子どもを生み育てることができ、子どもが心身ともに健やかに育つことができる環境を整備するため。

効果 「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現

【事業の内容】

(1) 次世代育成支援対策推進事業

・次世代育成支援対策協議会の運営を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

次世代育成支援対策の推進(4-1-4-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
498	498	257		241
主な支出内訳				
・次世代育成支援対策推進事業				
次世代育成支援対策協議会委員謝礼				257

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

育児支援事業

【

こども相談課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【事業の内容】

(1) 育児支援事業

- ・ ゆとりある子育て環境をつくるため鎌倉、深沢及び大船の子育て支援センターを運営し、子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や育児相談に対応した。また、親子で自由にゆっくりくつろげるフリースペースの「子育てひろば」を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援センターの充実(4-1-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,610	23,613	23,613		0
主な支出内訳				
・ 育児支援事業				
鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料				22,442
主な特定財源				
・ 国県支出金				9,587
子育て支援センター利用状況				
・ 鎌倉子育て支援センター		延	10,953人	
・ 深沢子育て支援センター		延	7,625人	
・ 大船子育て支援センター		延	13,055人	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

育児家庭支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 育児・介護等の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭や高齢者等の介護を支え、心豊かに暮らせる状況の実現

【事業の内容】

(1) 育児家庭支援事業

- ・ 育児、高齢者等に対する軽易な介護等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ファミリーサポートセンターの運営(4-1-4-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,669	8,666	8,552		114
主な支出内訳				
・ 育児家庭支援事業				
ファミリーサポートセンター運営委託料				8,077
主な特定財源				
・ 国県支出金				8,552
ファミリーサポートセンター会員数と活動状況				
会員数				
育児	支援会員 480人	依頼会員 1,747人	両方会員 121人	
介護	支援会員 356人	依頼会員 83人	両方会員 12人	
活動状況				
育児	7,096件			
介護	633件			

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

子ども会館・子どもの家管理運営事業

【 こどもみらい課・青少年課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

青少年育成: 青少年が健全に成長・発達しているまち

【事業の目的】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもに健全な遊び場を与え、心身の健やかな育成を図るほか、放課後等に家庭において保護者の適切な世話を受けられない児童に対して、家庭的な指導を行うため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【事業の内容】

(1) 子ども会館・子どもの家管理運営事業

- ・各小学校区に子どもの家を設置し、指導員のもと学童保育を行うとともに、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館により、地域の乳幼児・小中学生に遊び場を提供した。
- ・小学校との距離がある深沢小学校区の子どもの家について整備を行った。
- ・深沢第一子ども会館の運営を市民活動団体とともに行った。
- ・第一小学校区子ども会館・子どもの家整備計画に係る測量及び地質調査については、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子ども会館・子どもの家の整備(4-4-2-①)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
240,435	255,664	235,828	9,861	9,975
主な支出内訳				
・ 子ども会館・子どもの家管理運営事業				
こども育成専任指導員報酬 23人				68,849
こども育成指導員報酬 88人				86,925
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
夏期及び障害児対応アルバイト賃金				8,133
子ども会館・子どもの家消耗品費				4,065
子ども会館・子どもの家光熱水費				6,398
子ども会館・子どもの家修繕料				9,537
機械警備委託料				1,181
軽作業委託料				226
子どもの家利用料徴収システム保守委託料				158
備品等廃棄物収集運搬処分等委託料				381
第一小学校区子ども会館・子どもの家アスファルト修復等委託料				304
鎌倉体育館代替駐車場に関するサービス券交付等業務委託料				52
第一小学校区子ども会館・子どもの家整備計画測量委託料(翌年度への繰越明許費)				0
第一小学校区子ども会館・子どもの家整備計画地質調査委託料(翌年度への繰越明許費)				0
子どもの家賃借料(第一小学校区分)				2,520
深沢小学校余裕教室改修工事請負費				27,300
子ども会館・子どもの家備品購入費				3,485
深沢第一子ども会館運営事業負担金				2,945
だいいち子どもの家光熱水費負担金				533

主な特定財源
・ 国県支出金

42,170

子ども会館利用状況

(単位:人)

二階堂	長谷	七里ガ浜	腰越	西鎌倉	梶原	深沢第一	深沢第二	山崎	大船第一	大船第二	岩瀬	玉縄	植木	合計
6,782	8,357	6,042	2,871	2,542	1,097	7,607	2,065	1,330	7,216	1,764	4,523	6,200	5,944	64,330

子どもの家利用状況(高学年児童を含む)

(単位:人)

にかいどう	だいいち	おなり	いなむらがさき	しちりがはま	こしこえ	にしかまくら	かじわら	ふかさわ	やまさき	おおふな第一	おおふな第二	いわせ	たまなわ	うえき	せきや	合計
8,199	11,880	12,671	4,677	3,068	5,075	9,558	11,460	10,083	15,726	10,558	7,144	6,539	8,562	4,292	6,515	135,997

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎小児医療の経費

小児医療助成事業

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳～小学校6年生の入・通院した者と、中学生の入院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 小児医療助成事業

- ・食事療養標準負担額を除く0歳～小学校6年生の入・通院と、中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【中事業に含まれる実施計画事業】

小児医療費の助成(4-1-4-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
438,693	462,724	442,283		20,441
主な支出内訳				
・小児医療助成事業				
臨時的任用職員賃金				644
医療助成事務用消耗品費				61
受診証印刷製本費				0
診療報酬明細書印刷製本費				0
審査支払等手数料				12,410
医療費扶助				429,168
主な特定財源				
・国県支出金				
				67,636
助成件数	延 233,226件	月平均対象者	14,235人	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎児童手当の経費

児童手当支給事業

【

こども相談課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳から12歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある児童(小学校修了前の児童)を養育している者

意図 児童を養育している者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

(1) 児童手当支給事業

- 児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育している者に手当を支給した。

支給額 第1・2子…… 5,000円(月額) ※ただし、3歳未満は、10,000円(月額)

第3子以降… 10,000円(月額)

- 平成22年2月分、3月分を6月に支払った。

- 過年度の現況届提出者に対し随時支払を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,905	143,540	141,545		1,995
主な支出内訳				
・ 児童手当支給事業				
児童手当				
0～3歳未満	月額10,000円	5,511人分		55,110
3歳～小学校修了前				
(第1・2子)	月額 5,000円	14,709人分		73,545
(第3子以降)	月額 10,000円	1,289人分		12,890
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				104,239

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎子ども手当の経費

子ども手当支給事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある子ども(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 子どもを養育している者に子ども手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う子どもの健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

(1) 子ども手当支給事業

- ・前年度からの繰越明許費により、子ども手当システムの開発を行った。
- ・子どもの健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、子どもを養育している者に手当を支給した。

支給額 13,000円(月額)

所得制限なし

- ・子ども手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。
- ・子ども手当支給のためのシステム改修については、翌年度へ繰越しを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,932,669	2,715,046	2,705,294	4,800	4,952
主な支出内訳				
・子ども手当支給事業				
臨時的任用職員賃金				1,922
子ども手当消耗品費				1,263
子ども手当印刷製本費				264
銀行等振込手数料				0
子ども手当業務支援委託料等				4,210
子ども手当システム開発業務委託料等(前年度からの繰越明許費)				12,955
子ども手当システム改修委託料(翌年度への繰越明許費)				0
子ども手当システム賃借料				1,768
備品購入費				265
子ども手当				
月額13,000円 延 206,204人分				2,680,652
主な特定財源				
・国県支出金				2,419,205

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎入院助産等の経費

入院助産等事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 入院助産等事業

- ・経済的な理由により、出産が困難な家庭に出産の扶助をする事業については、申請がなかった。
- ・母子家庭で児童の養育が十分にできなかったため、自立促進に向けて、母子をともに生活支援施設に入所させて保護した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
862	3,332	3,201		131

主な支出内訳

・入院助産等事業

助産施設入所費

0

母子生活支援施設入所費

3,201

主な特定財源

・国県支出金

2,588

◎施設保育の経費

私立保育所等入所事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

対象 健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所等入所事業

- ・市内の私立保育所に入所している児童に係る運営扶助費を執行した。
- ・市外の公私立保育所に入所している児童に係る管外委託運営扶助費を執行した。
- ・市外の私立保育所に入所している児童に係る管外委託法外扶助費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園扶助)(4-1-4-⑰)

認定こども園の設置(扶助)(4-1-4-23)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,020,234	1,020,234	1,008,129		12,105
主な支出内訳				
・私立保育所等入所事業				
私立保育所運営扶助費 10園				959,510
管外委託運営扶助費				45,249
管外委託法外扶助費				3,370
主な特定財源				
・国県支出金				404,229

私立保育所運営費扶助費

区分	運営費	延児童数
保育園	(千円)	(人)
富士愛育園	99,480	1,472
聖アンナの園	115,715	1,812
岩瀬保育園	143,588	1,231
岩瀬保育園分園		446
オレンジ	51,676	522
清心保育園	87,280	1,067
こぼとナーサリー	66,973	752
大船ひまわり保育園	70,992	718
たんぽぽ共同保育園	131,802	855
たんぽぽ共同保育園梶原分園		375
山崎保育園	91,854	1,213
アワーキッズ鎌倉(本園)	100,150	960
アワーキッズ鎌倉(分園)		940
計	959,510	12,363

管外委託扶助費及び管外委託法外扶助費

区分	運営費	法外扶助費	延児童数
保育園	(千円)	(千円)	(人)
管外公立保育所	12,397	0	182
管外民間保育所	32,852	3,370	391
計	45,249	3,370	573

◎施設保育の経費

私立保育所助成事業

【 こどもみらい課・保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所助成事業

- ・私立保育所の整備費に対する安心こども交付金を交付した。
- ・私立保育所の運営費に対する民間保育所運営費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育事業費補助金を交付した。
- ・開所時間11時間及び延長保育を実施するために要する経費に対し延長保育事業等補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所運営改善費補助金を交付した。
- ・一時預かり事業等に必要な経費に対する一時預かり事業等補助金を交付した。
- ・休日保育事業に必要な経費に対する休日保育事業補助金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園運営補助)(4-1-4-⑰)

認定こども園の設置(運営補助)(4-1-4-23)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
625,852	552,610	542,554		10,056
主な支出内訳				
・私立保育所助成事業				
安心こども交付金				151,454
民間保育所運営費補助金				154,111
障害児保育事業費補助金				222
延長保育事業等補助金				67,622
民間保育所運営改善費補助金				162,689
一時預かり事業等補助金				5,407
休日保育事業補助金				1,049
主な特定財源				
・国県支出金				
				211,764

私立保育所補助金

区分	保育所	富士	アンナ	岩瀬	オレンジ	清心	こぼと	大船 ひまわり	たんぼぼ	山崎	アワーキッ ズ鎌倉	市外	計
民間保育所運営費補助金													
(特別経常費)		2,850	0	780	0	0	1,489	0	1,800	0	0	0	6,919
(基本分)		4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	0	41,250
(利用者別基礎 加算)		8,987	11,164	12,310	6,453	8,742	5,455	5,471	12,108	7,264	15,118	724	93,796
(開所時間加算)		749	946	861	442	577	446	365	626	623	967	52	6,654
(障害児加算)		0	0	688	802	0	688	229	1,375	0	0	0	3,782
(地域育児セン ター加算)		150	0	300	0	300	0	220	300	140	300	0	1,710
(級地格差是正 加算)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		16,861	16,235	19,064	11,822	13,744	12,203	10,410	20,334	12,152	20,510	776	154,111
障害児保育事業費補助金													
(障害児推進費 特別対策事業 費)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	222	0	222
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	222	0	222
延長保育事業等補助金													
(開所時間延長 促進事業費)		4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	0	45,190
(延長保育事業 費)		2,386	2,562	2,229	2,323	2,064	2,345	2,171	1,645	2,373	2,334	0	22,432
小計		6,905	7,081	6,748	6,842	6,583	6,864	6,690	6,164	6,892	6,853	0	67,622
民間保育所運営改善費補助金													
(職員加算)		4,648	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	0	47,128
(経営改善費)		7,900	7,768	10,515	3,644	7,023	5,823	6,800	10,018	7,412	10,160	0	77,063
(処遇改善費)		2,842	3,443	3,295	1,015	2,050	1,474	1,364	2,337	2,305	3,779	0	23,904
(健康管理費)		208	208	208	208	208	208	139	208	208	76	0	1,879
(災害共済負担 費)		48	57	46	23	41	23	25	37	38	61	0	399
(分園運営支援 費)		0	0	3,320	0	0	0	0	2,475	0	6,521	0	12,316
小計		15,646	16,196	22,104	9,610	14,042	12,248	13,048	19,795	14,683	25,317	0	162,689
一時預かり事業等補助金													
(一時預かり事業 等補助金)		0	0	0	0	405	1,021	0	2,016	1,965	0	0	5,407
小計		0	0	0	0	405	1,021	0	2,016	1,965	0	0	5,407
休日保育事業補 助金		0	0	0	0	0	0	0	0	1,049	0	0	1,049
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	1,049	0	0	1,049
合計		39,412	39,512	47,916	28,274	34,774	32,336	30,148	48,309	36,741	52,902	776	391,100

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

認可外保育施設助成事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している認可外保育施設に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 認可外保育施設における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 認可外保育施設助成事業

- ・ 認定保育施設等に入所している児童の保育に要する経費を助成した。
- ・ 認定保育施設等の施設整備、入所児童の処遇改善に要する経費を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
99,341	79,961	70,510		9,451
主な支出内訳				
・ 認可外保育施設助成事業				
認定保育施設乳幼児保育助成金				40,496
認定保育施設運営改善費補助金				10,189
届出保育施設運営改善費補助金				415
新認定保育施設運営改善費補助金				19,410
主な特定財源				
・ 国県支出金				9,275

認可外保育施設補助金

保育所 区分	ピヨピヨ 保 育 園	保 育 室 みつばち	保 育 室 アーモ玉縄	保 育 所 のぞみ	まんまる 保 育 室	湘 南 アイルド	保 育 室 ぽかぽか	計
認定保育施設乳幼児保育補助金								
(乳幼児保育助成金)	40,496	0	0	0	0	0	0	40,496
小計	40,496	0	0	0	0	0	0	40,496
認定保育施設乳児加算補助金								
(乳児保育加算助成金)	2,629	0	0	0	0	0	0	2,629
小計	2,629	0	0	0	0	0	0	2,629
認定保育施設運営改善費補助金								
(施設使用料)	3,840	0	0	0	0	0	0	3,840
(設備等整備費)	270	0	0	0	0	0	0	270
(従事者給与改善費)	629	0	0	0	0	0	0	629
(従事者研修費)	457	0	0	0	0	0	0	457
(健康管理費)	208	0	0	0	0	0	0	208
(施設整備費)	187	0	0	0	0	0	0	187
(障害児保育推進事業費)	731	0	0	0	0	0	0	731
(特別保育費)	228	0	0	0	0	0	0	228
(児童処遇助成費)	0	0	0	0	0	552	207	759
小計	6,550	0	0	0	0	552	207	7,309
認定保育施設保険加入費補助金								
(保険加入費補助金)	251	0	0	0	0	0	0	251
小計	251	0	0	0	0	0	0	251
届出保育施設運営改善費補助金								
(児童健康管理費)	0	188	0	80	16	0	0	284
(従事者健康管理費)	0	68	0	19	19	0	0	106
(施設賠償責任保険)	0	10	0	0	15	0	0	25
小計	0	266	0	99	50	0	0	415
新認定保育施設児童処遇助成等補助金								
(児童処遇助成費)	0	7,450	4,810	0	0	0	0	12,260
児童処遇助成費加算(兄弟入所)	0	96	84	0	0	0	0	180
児童処遇助成費加算(母子父子)	0	332	60	0	0	0	0	392
(特別保育費)	0	228	684	0	0	0	0	912
(従事者研修費)	0	0	0	0	0	0	0	0
(待機児童)	0	2,970	2,030	0	0	0	0	5,000
(認定化促進事業)	0	666	0	0	0	0	0	666
小計	0	11,742	7,668	0	0	0	0	19,410
合計	49,926	12,008	7,668	99	50	552	207	70,510
年間入所延児童数	612	340	260	216	38	12	9	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎母子等福祉の経費

母子生活支援事業

【

こども相談課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子家庭等(ひとり親家庭)

意図 母子家庭等(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 母子家庭等(ひとり親家庭)の安定した生活の維持

【事業の内容】

(1) 母子生活支援事業

- ・離婚などで父親と生計を同じくしていない児童や父親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援として母子家庭自立支援教育訓練給付金、母子家庭高等技能訓練促進費、家賃助成、ひとり親家庭等日常生活支援、福祉資金の貸付けを行った。
- ・遺児が中学校を卒業するにあたり卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

母子家庭の自立支援(4-1-4-⑳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
326,419	323,392	322,706		686
主な支出内訳				
・母子生活支援事業				
母子自立支援員報酬 2人				5,107
児童扶養手当認定医報酬				0
遺児卒業祝金 贈呈件数14件				420
ひとり親家庭等児童大学進学支度金 交付件数39件				2,340
児童扶養手当消耗品費				58
ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料 1件				9
児童扶養手当システム改修業務委託料				787
鎌倉市母子寡婦福祉会補助金				80
母子家庭自立支援教育訓練給付金補助金 5件				76
母子家庭等家賃助成 助成世帯 302世帯				24,496
児童扶養手当 受給者数 692人				281,632
母子家庭高等技能訓練促進費 6件				6,980
母子等福祉資金貸付金				200
社会福祉基金積立金				166
主な特定財源				
・国県支出金				98,574

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎ひとり親家庭等医療の経費

ひとり親家庭等医療助成事業

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子又は父子家庭等のこどもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【事業の内容】

(1) ひとり親家庭等医療助成事業

- ・ひとり親家庭等の高校卒業前のこどもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。一定の所得制限を設けている。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,517	61,017	60,373		644
主な支出内訳				
・ひとり親家庭等医療助成事業				
臨時的任用職員賃金				45
医療助成事務等消耗品費				5
受診証印刷製本費				17
診療報酬明細書印刷製本費				0
審査支払手数料				1,230
医療費扶助				59,076
主な特定財源				
・国県支出金				
				25,554
助成件数	延 21,500件	月平均対象者	1,721人	

◎保育所の経費

公立保育所管理運営事業

【 こどもみらい課・保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【事業の内容】

(1) 公立保育所運営事業

- ・公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・病後児保育事業に係る経費を執行した。
- ・その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

(2) 公立保育所管理事業

- ・公立保育所の維持管理に係る経費の効率的な執行を図った。
- ・腰越保育園耐震診断は、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

低年齢児保育の充実(4-1-4-⑨)

一時預かりの拡充(4-1-4-⑫)

病後児施設型保育の実施(4-1-4-⑮)

公立保育園の民営化計画(4-1-4-⑲)

子育て支援施設の耐震化(4-1-4-24)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
428,491	410,396	384,292	3,381	22,723
主な支出内訳				
・公立保育所運営事業				
保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 28人				2,936
保育等嘱託員報酬 21人				21,122
産休・育休代替等臨時的任用職員賃金				134,125
保育用消耗品費				6,192
給食賄材料費				60,756
検便・ぎょう虫・検体検査手数料				893
待機児対策等保育業務委託料				26,335
給食調理業務等委託料				57,810
病後児保育委託料				13,970
寺分保育園引継保育業務委託料				0
・公立保育所管理事業				
光熱水費				22,514
修繕料				9,321
消防用設備等保守点検手数料				1,772
清掃・用務・軽作業委託料				14,607

警備等委託料	5,436
腰越保育園耐震診断委託料(翌年度への繰越明許費)	0
保育用器具等備品購入費	2,121

主な特定財源

・ 国県支出金	4,253
---------	-------

年間入所延人数

材木座保育園	1,302人	寺分保育園	1,257人
稲瀬川保育園	1,180人	大船保育園	991人
腰越保育園	1,360人	岡本保育園	1,250人
深沢保育園	1,381人	合計	8,721人

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎保育所の経費

分園運営事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所の施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組む。

【事業の内容】

(1) 分園運営事業

- ・玉縄地域の待機児童解消対策の暫定的な措置として、私立保育所の分園形式による保育園に係る経費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(施設運営)(4-1-4-⑰)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,109	16,109	16,108		1
主な支出内訳				
・分園運営事業				
土地賃借料				1,996
園舎リース料				14,112

◎あおぞら園の経費

あおぞら園管理運営事業

【 こどもみらい課・発達支援室 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 知的発達につまづきのある幼児

意図 知的障害児通園施設において、日常生活にとって必要な基本的生活習慣や社会性の発達を援助し、障害児の自立を育成するため。

効果 障害児が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと

【事業の内容】

(1) あおぞら園運営事業

- ・ 知的発達につまづきのある幼児に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的生活習慣や社会性の発達を援助した。

(2) あおぞら園管理事業

- ・ あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。
- ・ あおぞら園耐震診断は、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援施設の耐震化(4-1-4-24)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,669	54,124	43,824	3,455	6,845
主な支出内訳				
・ あおぞら園運営事業				
嘱託医報酬 4人				1,072
栄養・給食等嘱託員報酬 5人				5,272
産休・育休代替等臨時的任用職員賃金				2,144
給食賄材料費				4,336
賠償責任保険・普通傷害保険料				347
保健師派遣委託料				4,537
保育士派遣委託料				2,964
県社会福祉協議会会費負担金				25
市社会福祉協議会会費負担金				3
・ あおぞら園管理事業				
光熱水費				2,548
修繕料				1,777
自家用電気工作物保安管理等手数料				506
総合施設管理業務委託料				5,670
警備委託料				115
通園バス運行委託料				10,635
自動ドア保守点検等委託料				149
あおぞら園耐震診断委託料(翌年度への繰越明許費)				0

利用状況

・知的障害児通園施設

開園日数:221日 年間延べ児童出席総数:6,031人

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 5生活保護総務費

◎生活保護の経費

生活保護事務

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【事業の内容】

(1) 生活保護事務

- ・病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限度の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,487	12,487	11,372		1,115
主な支出内訳				
・生活保護事務				
嘱託医報酬(一般・精神科) 2人				1,606
就労支援員報酬 1人				980
一般診療等審査手数料				1,011
レセプト点検事業委託料				462
保護費封入委託料				850
住宅片付事業委託料				0
生活保護業務システム改修等委託料				4,658
レセプトオンライン請求用パソコン及び関連機器購入費				1,691
主な特定財源				
・国県支出金				
				7,329

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 5生活保護総務費

◎生活保護の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

健康福祉部のうち福祉政策課(福祉総務担当)・生活福祉課(保護担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			81,955
・ 給料	一般職		36,430
	一般職職員	11人	
・ 職員手当等			33,664
	扶養手当		1,025
	地域手当		5,618
	通勤手当		841
	超過勤務手当		7,711
	特殊勤務手当		384
	期末勤勉手当		14,578
	住居手当		2,797
	児童手当		60
	子ども手当		650
・ 共済費			11,861
	市町村職員共済組合負担金		

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 10扶助費

◎生活保護扶助の経費

扶助事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【事業の内容】

(1) 扶助事業

- ・病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限度の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

保護率の状況(平成23年3月31日現在)

区分	総人口	保護人員	保護率
鎌倉市	174,252人	807人	0.46%
神奈川県	9,046,099人	143,405人	1.59%

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,522,304	1,521,158	1,518,265		2,893
主な支出内訳				
・扶助事業				
生活扶助費	延 8,557 人	実 713 人		503,156
医療扶助費	延 6,637 人	実 553 人		667,517
教育扶助費	延 457 人	実 38 人		4,411
住宅扶助費	延 7,990 世帯	実 666 人		282,714
生業扶助費	延 180 人	実 15 人		4,079
出産扶助費	延 1 人	実 1 人		202
葬祭扶助費	延 23 人	実 23 人		5,701
施設事務費	延 101 人	実 8 人		15,028
介護扶助費	延 1,499 人	実 125 人		35,457
主な特定財源				
・国県支出金				1,169,178

(款) 15民生費 (項) 20災害救助費 (目) 5災害救助費

◎災害救助の経費

救助事業

【 福祉政策課・生活福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【事業の内容】

(1) 救助事業

- ・火災等により被害を受けた方に対して、見舞金・弔慰金を支給した。
- ・異常な自然現象により被害を受けた方に対して、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行う。(平成22年度は、貸付対象となる災害はなし。)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,610	3,610	2,514		1,096

主な支出内訳

・救助事業

小災害見舞金(19件)	510
小災害弔慰金(2件)	2,000
災害援護資金貸付金(0件)	0

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎保健衛生一般の経費

保健衛生運営事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生水準の向上。

【事業の内容】

(1) 保健衛生運営事業

- ・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。
- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・財政支援をすることから、鎌倉市医師会立産科診療所の運営内容について透明性を確保するため、市民、学識経験者を交えた運営協議会を開催した。

(2) 献血事業

- ・日本赤十字血液センターが街頭等で実施する献血事業に対し、献血者への謝礼を配布した。あわせてホームページや広報かまぐらの活用、市内事業所や町内会、ライオンズクラブ等との連携を通して献血への参加を呼びかけた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ハッピーバース支援(産科診療所の運営支援) (4-1-2-⑱)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,789	63,789	59,099		4,690
主な支出内訳				
・保健衛生運営事業				
産科診療所運営協議会委員報償				94
救急医療・健診等保険料				863
地域医療センター維持管理費負担金				3,014
県ドクターヘリ運営事業運営費負担金				417
医師会運営費補助金				3,731
歯科医師会運営費補助金				2,023
衛生協議会運営費補助金				3,686
薬剤師会運営費補助金				116
助産師会等運営費補助金				230
産科医師分娩手当補助金				530
産科診療所運営費補助金				43,719
・献血事業				
献血協力者謝礼				249
主な特定財源				
・国県支出金				530

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎保健衛生一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

健康福祉部市民健康課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			218,282
・ 給料	一般職		101,943
	一般職職員	32人	
・ 職員手当等			80,561
	扶養手当		1,921
	地域手当		15,730
	通勤手当		2,347
	超過勤務手当		12,710
	休日給		85
	管理職手当		999
	特殊勤務手当		24
	期末勤勉手当		40,529
	住居手当		5,121
	管理職員特別勤務手当		5
	児童手当		50
	子ども手当		1,040
・ 共済費			35,778
	市町村職員共済組合負担金		35,563
	雇用保険料		215

◎救急医療対策の経費

救急医療対策事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病への迅速な対応。

【事業の内容】

- (1) 休日夜間急患診療所事業
 - ・ 休日、夜間に地域医療センターで内科系の疾患に対し急患診療を行った。
- (2) 二次救急医療確保対策事業
 - ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- (3) 救急医療情報提供事業
 - ・ 市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(12時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- (4) 休日急患歯科診療所事業
 - ・ 休日昼間にレイ・ウェル鎌倉で歯科の疾患に対し歯科急患診療を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

休日急患歯科診療所の運営(4-1-3-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,128	155,128	153,479		1,649
主な支出内訳				
・ 休日夜間急患診療所事業				
休日夜間急患診療所業務委託料				45,333
・ 二次救急医療確保対策事業				
病院群輪番制業務委託料				89,001
単独医療機関制業務委託料				9,853
・ 救急医療情報提供事業				
救急電話音声自動対応業務委託料				252
・ 休日急患歯科診療所事業				
休日急患歯科診療所業務委託料				6,675
休日急患歯科診療所管理等委託料				880
主な特定財源				
・ 国県支出金				5,029

応需件数

区 分			応 需 件 数
一次救急医療	休日夜間急患診療所	休日71日 夜間365日	1,771件
二次救急医療	病院群輪番制	7医療機関（内科・外科） 8医療機関（内科・外科）	4,397件
	単独医療機関制	内科・外科	8,134件
休日急患歯科診療所		休日（年末年始含む）	297件

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 10予防費

◎予防接種の経費

予防接種事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【事業の内容】

(1) 予防接種事業

- ・ 集団接種(ポリオ)、個別接種(BCG、MR、麻しん、風しん、三種混合、二種混合、日本脳炎)、インフルエンザ(65歳未満の低所得者及び65歳以上)の定期予防接種を実施した。
- ・ 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の任意予防接種を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
248,370	336,912	269,532		67,380
主な支出内訳				
・ 予防接種事業				
ポリオ集団接種受付事務等賃金				2,238
子宮頸がんワクチン予防接種等アルバイト賃金				758
予防接種ワクチン等医薬材料費				67,168
予防接種等委託料				149,844
ポリオ医師派遣委託料				2,540
健康管理システム改修(予防接種)委託料				1,155
子宮頸がんワクチン予防接種等委託料				42,423
健康管理システム改修(任意接種)委託料				682
予防接種費用自己負担金補助金				518
子宮頸がんワクチン予防接種等補助金				394
主な特定財源				
・ 国県支出金				20,662

予防接種ごとの接種人数

予防接種名	接種人数
DPT三種混合	5,096 人
DT二種混合	1,323 人
ポリオ(急性灰白髄炎)	2,587 人
日本脳炎	6,228 人
MR混合(麻しん・風しん)	4,612 人
麻しん 単抗原	5 人
風しん 単抗原	11 人
BCG	1,242 人
インフルエンザ	23,040 人
子宮頸がんワクチン	1,871 人
ヒブワクチン	803 人
小児用肺炎球菌ワクチン	870 人
合 計	47,688 人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 10予防費

◎感染症対策の経費

感染症対策事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。

効果 感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

【事業の内容】

(1) 感染症対策事業

- ・感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への正しい理解を深めるため、冊子等により啓発に努めた。
- ・新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延防止と医療機関の混乱を避けるために開設する発熱外来の施設維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,367	6,367	505		5,862

主な支出内訳

・感染症対策事業

感染症対策啓発パンフレット等消耗品費

147

発熱外来光熱水費

120

感染症対策事業用医薬材料費

0

発熱外来電信料

98

発熱外来委託料

0

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

成人保健事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進のための啓発を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 成人保健事業

- ・市民の健康の増進を図るため健康手帳の交付や健康教育、健康相談等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,237	3,237	3,151		86
主な支出内訳				
・成人保健事業				
嘱託栄養士報酬 2人				2,506
健康教育講師謝礼				20
主な特定財源				
・国県支出金				717

◎保健の経費

母子保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康の増進のため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【事業の内容】

(1) 母子保健事業

- ・母子健康手帳、すくすく手帳の交付を行った。
- ・妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後1か月健診1回の助成を行った。
- ・家庭訪問(新生児育児支援等)、乳幼児健診、母親教室、育児講座、健康相談等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

妊産婦への健診支援(4-1-3-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
142,641	135,202	125,609		9,593
主な支出内訳				
・母子保健事業				
母子保健指導嘱託員報酬 33人				8,196
母親教室・育児講座講師等謝礼				340
妊産婦・新生児等訪問指導謝礼				4,778
母子健康手帳等消耗品費				776
すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費				806
妊産婦健診等委託料				73,241
乳児健診(4か月児、お誕生前)委託料				18,453
幼児健診等委託料				11,114
指定医療機関外の妊産婦健診・乳児健診補助金				4,141
主な特定財源				
・国県支出金				28,245

妊産婦健康診査

受診者数		受診者数	
区 分	指定医療機関	区 分	指定医療機関
	指定医療機関外		指定医療機関外
1回目	1,257人	9回目	1,093人
	12人		96人
2回目	1,241人	10回目	1,001人
	27人		116人
3回目	1,201人	11回目	932人
	28人		115人
4回目	1,182人	12回目	819人
	28人		114人
5回目	1,193人	13回目	669人
	28人		95人
6回目	1,164人	14回目	504人
	39人		74人
7回目	1,141人	15回目	905人
	50人		180人
8回目	1,114人	合計	15,416人
	70人		1,072人

乳児健康診査

区 分	受診者数
4か月児健康診査	1,234人
お誕生前健康診査	1,190人
計	2,424人

幼児健康診査

区 分	受診者数
1歳6か月児健康診査	1,189人
2歳児歯科健康診査	784人
3歳児健康診査	1,154人
計	3,127人

乳幼児精密健康診査

区 分	精密健康診査券発行数
乳幼児精密健康診査	32人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

老人保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 65歳以上の高齢者(機能訓練については、40歳以上)

意図 高齢者の介護予防や健康の増進を図るため。

効果 健康に対する意識を高め、生きがいのある生活を送ることができる。

【事業の内容】

(1) 老人保健事業

- ・健康教育(健康づくり、介護予防など)、健康相談(生活習慣改善、栄養、介護予防など)を実施した。
- ・脳卒中後遺症・関節疾患等の方(40歳以上)の社会参加・機能維持を目指し、機能訓練(日常生活や基本動作の訓練等)を実施した。
- ・75歳以上の後期高齢者健診事業を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
80,813	73,149	66,521		6,628	
主な支出内訳					
・老人保健事業					
非常勤嘱託保健師報酬 4人				5,557	
機能訓練嘱託員報酬 5人				2,876	
健康講座講師等謝礼				170	
機能訓練教室送迎車運行委託料				2,544	
生活機能評価委託料 13,911人				17,119	
訪問歯科検診委託料				0	
後期高齢者健診委託料 8,645人				36,696	
認知症相談パンフレット作成業務委託料				1,223	
主な特定財源					
・国県支出金					
1,333					
後期高齢者健診（早期移行者を含む）					
区 分	受診者数	異常なし	要指導	要指導と要医療	要医療
血液・尿・心電図等	8,645人	2,046人	4,370人	1,292人	937人
生保受給者健診(40歳以上)					
区 分	受診者数	異常なし	要指導	要指導と要医療	要医療
血液・尿・心電図等	59人	9人	30人	8人	12人

生活機能評価

受診者数 (A+B)	特定高齢者	特定高齢者候補者 (特定高齢者を含む) A	一般高齢者 B
13,911人	419人	3,464人	10,447人

機能訓練教室

実施回数	参加者数	延参加者
延167回	41人	616人

機能訓練教室送迎車運行

実施回数	乗車実人数	延乗車人数
延78回	11人	234人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

結核検診事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 結核の早期発見・治療のため。

効果 結核を予防し、まん延を防ぐ。

【事業の内容】

(1) 結核検診事業

・肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,152	4,152	3,399		753
主な支出内訳				
・結核検診事業				
結核検診委託料 518人				3,399

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

成人健康診査事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。

【事業の内容】

(1) 成人健康診査事業

- ・若年期からの生活習慣病予防のため20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施)
- ・20～40歳の方に4歳刻みで、40～70歳の方に10歳刻みで歯周疾患検診を実施した。(問診、口腔内検査)

【中事業に含まれる実施計画事業】

20歳からの成人健診事業の推進(4-1-3-⑥)

歯周疾患検診の推進(4-1-3-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,538	6,663	4,966		1,697
主な支出内訳				
・成人健康診査事業				
キット健診等委託料 670人				1,784
肝炎検診委託料 309人				1,061
歯周疾患検診委託料 421人				2,046
主な特定財源				
・国県支出金				2,060
キット健診(20歳～38歳)※国保加入者を含む。				
区分	受診者数	異常なし	要観察	要医療
血液検査	1,002人	388人	499人	115人
肝炎検診				
区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C型	309人	308人		1人
B型	309人	307人	2人	
歯周疾患検診(20歳～36歳、40歳、50歳、60歳、70歳)※国保加入者を含む。				
区分	受診者数	異常なし	要指導	要医療
口腔内診査	458人	39人	30人	389人

◎健康診査の経費

がん検診事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに医療費の抑制につなげる。

【事業の内容】

(1) がん検診事業

- ・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がん(個別検診:40歳以上10年ごと、集団検診:40歳以上で胃がんの個別検診に該当しない方)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳～38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)の検診を実施した。
- ・女性特有のがん検診として、子宮頸がん(20,25,30,35,40歳)、乳がん(40,45,50,55,60歳)の検診を無料で実施した。
- ・前年度からの繰越明許費により、繰越事業分の女性特有のがん検診事業を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
387,664	420,528	350,951		69,577
主な支出内訳				
・がん検診事業				
臨時的任用職員賃金(前年度からの繰越明許費)				758
臨時的任用職員賃金				1,037
がん検診事業管理事務委託料				2,225
集団検診予約等一括業務委託料				8,333
がん精密検査追跡業務委託料				692
健診結果データ集約等業務委託料				5,200
大腸がん検診委託料 19,638人				32,270
肺がん検診委託料 21,367人				142,296
胃がん個別検診委託料 1,242人				22,790
胃がん集団検診委託料 4,474人				16,894
子宮頸がん検診委託料 4,723人				44,404
乳がん検診委託料 4,596人				27,726
女性特有のがん検診券発送一括業務委託料				2,461
女性特有のがん検診結果データ集約等業務委託料(前年度からの繰越明許費)				164
女性特有のがん検診結果データ集約等業務委託料				204
女性特有のがん検診等委託料 1,968人(前年度からの繰越明許費)				18,575
女性特有のがん検診等委託料 2,508人				23,360
主な特定財源				
・国県支出金				25,782

大腸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
便潜血検査	19,638人	1,442人	57人

肺がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
胸部X線直接撮影	21,367人	263人	12人

胃がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
集団 (胃部X線間接撮影)	4,474人	422人	9人
節日年齢 (胃部X線直接撮影)	1,242人	244人	8人
計	5,716人	666人	17人

子宮頸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診	4,723人	39人	3人

乳がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
視触診のみ	876人	69人	0人
乳房X線撮影 +視触診	3,720人	330人	9人
計	4,596人	399人	9人

女性特有のがん検診 子宮頸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診 (H21からの繰越)	932人	23人	0人
子宮頸部細胞診	1,130人	19人	0人

女性特有のがん検診 乳がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影+視触診 (H21からの繰越)	1,036人	100人	5人
乳房X線撮影 +視触診	1,378人	170人	1人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

健康情報システム構築・運用事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。

【事業の内容】

(1) 健康情報システム構築・運用事業

- ・ 受診券発送から総合判定結果までのシステムの構築により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

健康情報システムの構築と運用(4-1-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,189	17,589	17,496		93

主な支出内訳

・ 健康情報システム構築・運用事業

健康診査データ管理委託料

5,801

受診券発送等業務委託料

10,519

総合判定結果通知等業務委託料

1,176

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

地域健康づくり事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 骨密度等の測定を通し、健康づくりへの関心を高めるとともに、地域の人材を発掘して健康づくりの地域活動を支援するため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成をはかり、個人及び地域が健康づくりを継続できる環境をつくる。

【事業の内容】

(1) 地域健康づくり事業

- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。
- ・健康的な地域社会を構築していくために、自らの健康を推進し、かつ地域の住民の健康づくりを担っていく人材を育成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

若年層の地域健康づくり事業の推進(4-1-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
692	692	527		165

主な支出内訳

・地域健康づくり事業

地域健康づくり実践活動 協力者謝礼

45

骨密度・末梢血液循環測定等委託料

92

生活習慣改善プログラム委託料

390

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

食育事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 食育事業

- ・食育活動を推進するボランティアを育成するとともに、既に活動している団体と連携を図りながら地域での食育を推進した。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が交流する場を提供し、全市的な食育の推進に努めた。
- ・食育推進計画改定及び今後の健康づくり施策に反映させるため、市民の食育や健康づくりに対する意識の変化を把握することを目的に調査を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

みんなですすめる食育(4-1-3-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,976	5,724	5,064		660
主な支出内訳				
・食育事業				
かまくら食育クラブ協力者等謝礼				337
かまくら食育カレッジ講師等謝礼				198
鎌倉食育推進会議委員謝礼				52
地域食育推進事業委託料				310
食育健康づくり調査委託料				3,934
主な特定財源				
・国県支出金				
				3,934

◎清掃一般の経費

清掃一般運営事業

【 環境政策課・資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

- (1) 一般廃棄物処理施設建設基金積立金
 - ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるため基金積立事業を行った。
- (2) 清掃運営事務
 - ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。
- (3) 清掃一般運営事業
 - ・生活環境整備審議会は、市の施策変更に伴い、調査・審議の継続が困難であることから、平成21年10月5日に提出した提言書の内容をもって平成23年2月18日に審議を終了した。
 - ・廃棄物の処理事業等に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、減量化及び資源化を推進するために、必要な事項についての調査、審議を行った。
 - ・廃棄物減量化等推進員を対象に、年4回会合を開催するとともに、推進員に対する研修として廃棄物関係施設見学会を実施した。
 - ・一般廃棄物処理基本計画の見直しに当たり、基礎調査業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

一般廃棄物処理基本計画基礎調査業務委託(3-3-3-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,109	11,094	10,388		706
主な支出内訳				
・一般廃棄物処理施設建設基金積立金				
一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金				745
一般廃棄物処理施設建設基金寄附金				1,056
・清掃運営事務				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
事務補助嘱託員費用弁償				47
文具類等消耗品費				316
全国都市清掃会議負担金				116
日本環境衛生センター負担金				50
神奈川県都市清掃行政協議会負担金				15
・清掃一般運営事業				
生活環境整備審議会委員報酬 9人				54
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 6人				344

事務補助嘱託員報酬 1人	1,008
廃棄物減量化等推進員謝礼	1,770
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償	7
事務補助嘱託員費用弁償	70
一般廃棄物処理手数料等賦課徴収用印刷物印刷製本費	159
一般廃棄物処理基本計画基礎調査業務委託料	3,570

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 5清掃総務費

◎清掃一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量・資源化推進担当・資源循環課・環境施設課
・名越クリーンセンター・今泉クリーンセンター・深沢クリーンセンター・笛田リサイクルセンター

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			1,519,380
・ 給料	一般職		693,502
	一般職職員	156人	
	再任用(短時間)	5人	
・ 職員手当等			598,887
	扶養手当		24,328
	地域手当		108,846
	通勤手当		17,607
	超過勤務手当		55,420
	休日給		42,555
	管理職手当		7,750
	特殊勤務手当		20,507
	期末勤勉手当		282,503
	住居手当		30,500
	管理職員特別勤務手当		0
	児童手当		590
	子ども手当		8,281
・ 共済費			226,991
	市町村職員共済組合負担金		226,127
	雇用保険料		864

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

名越クリーンセンター管理運営事業

【 名越クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター管理運営事業

- ・ 名越クリーンセンターでのごみの収集及び処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
115,898	110,198	109,756		442

主な支出内訳

- ・ 名越クリーンセンター管理運営事業

電気料	68,097
水道料	37,122
警備業務委託料	484
窓ガラス等清掃業務委託料	379
名越クリーンセンター用地賃借料	1,487
汚染負荷量賦課金	1,487

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 今泉クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター管理運営事業

・ 今泉クリーンセンターでのごみの収集及び処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,692	28,692	26,799		1,893
主な支出内訳				
・ 今泉クリーンセンター管理運営事業				
電気料				17,527
水道料				7,567
警備業務委託料				484
窓ガラス等清掃業務委託料				181
汚染負荷量賦課金				609

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

名越クリーンセンター収集事業

【 名越クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター収集事業

- ・ 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,388	24,356	21,252		3,104

主な支出内訳

・ 名越クリーンセンター収集事業

収集作業用消耗品費	1,366
収集車両燃料費	7,897
収集車両修繕料	8,450
じん芥収集車購入費(軽ダンプ車 2台)	3,288

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

今泉クリーンセンター収集事業

【 今泉クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター収集事業

- ・大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,617	12,602	11,281		1,321

主な支出内訳

・今泉クリーンセンター収集事業

収集作業用等消耗品費	940
収集車両燃料費	3,247
収集車両修繕料	5,260
じん芥収集車購入費(軽ダンプ車 1台)	1,644

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

最終処分事業

【

環境施設課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 焼却残さ溶融固化事業

- ・焼却残さ全量を溶融固化及び焼成処理し、路盤材等に加工することによって資源化を行った。

(2) 最終処分場維持管理事業

- ・最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。
- ・最終処分場の廃止に向けた、観測井戸設置等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

焼却残さの最終処分(3-3-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
269,289	260,902	258,388		2,514
主な支出内訳				
・焼却残さ溶融固化事業				
焼却残さ溶融固化処理業務委託料				218,903
焼却残さ溶出・含有量検定業務委託料				244
鹿嶋市環境保全協力金				697
・最終処分場維持管理事業				
最終処分場集水設備等維持修繕料				0
最終処分場ガス等測定検査業務手数料				2,247
最終処分場定期水質検査業務手数料				220
最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料				871
最終処分場保有水等搬出処理業務委託料				653
最終処分場観測井戸水運搬業務委託料				224
最終処分場観測井戸設置業務委託料				1,890
最終処分場ガス測定管設置業務委託料				885
最終処分場敷地調査業務委託料				1,246
最終処分場用地等営農損失補償金				30,029

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

処理施設整備事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【事業の内容】

(1) ダイオキシン類削減対策施設整備事業

- ・名越・今泉両クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)を実施した。
- ・今泉クリーンセンター事務所の賃借料を支出した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

クリーンセンター周辺環境調査(3-3-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,681	13,419	13,419		0
主な支出内訳				
・ダイオキシン類削減対策施設整備事業				
名越・今泉クリーンセンター周辺環境調査業務委託料				3,738
今泉クリーンセンター事務所賃借料				9,681

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

名越クリーンセンター処理事業

【 名越クリーンセンター・環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター処理事業

- ・ 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
- ・ 名越クリーンセンターの延命化に向けて、長寿命化調査・計画策定業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

名越クリーンセンターの延命化(3-3-3-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
286,070	285,324	279,945		5,379
主な支出内訳				
・ 名越クリーンセンター処理事業				
薬剤等消耗品費				37,629
施設燃料費				4,095
施設維持修繕料				119,585
電気工作物定期点検手数料				776
ごみ質検査手数料				361
作業環境調査業務委託料				399
クレーン年次点検業務委託料				810
環境調査業務委託料				2,069
焼却施設運転管理業務委託料				90,720
洗車排水汚水槽清掃業務等委託料				981
長寿命化調査・計画策定業務委託料				15,698
粗大ごみ等計量用トラックスケール賃借料				4,798

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

今泉クリーンセンター処理事業

【 今泉クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター処理事業

- ・ 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、ボイラー取替修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
174,996	183,942	168,760		15,182

主な支出内訳

・ 今泉クリーンセンター処理事業

薬剤等消耗品費	17,845
施設燃料費	2,453
施設維持修繕料	64,405
電気工作物定期点検手数料	313
ごみ質検査手数料	399
作業環境調査業務委託料	399
環境調査業務委託料	2,310
定期機能検査業務委託料	499
焼却施設運転管理業務委託料	67,032
脱臭設備保守業務委託料	2,625
クレーン年次点検業務委託料	767
排水処理施設各槽清掃業務等委託料	1,069
ボイラー取替修繕(前年度からの繰越明許費)	6,825

主な特定財源

・ 国県支出金	6,825
---------	-------

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

笛田リサイクルセンター管理運営事業

【 笛田リサイクルセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【事業の内容】

(1) 笛田リサイクルセンター運営事業

- ・ 笛田リサイクルセンターの運営管理を行った。
- ・ 廃棄物の減量化、資源化に関する啓発事業を実施した。

(2) 笛田リサイクルセンター維持管理事業

- ・ 笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,085	139,500	137,142		2,358
主な支出内訳				
・ 笛田リサイクルセンター運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
事務補助嘱託員費用弁償				64
再生利用施設用消耗品費				214
再生利用施設啓発事業委託料				3,800
運転・保守管理等業務委託料				22,302
資源物選別処理等業務委託料				53,550
自動ドア保守点検等委託料				272
・ 笛田リサイクルセンター維持管理事業				
資源物収集コンテナ等消耗品費				3,765
電気料				6,925
水道料				2,008
都市ガス料				4,520
施設内設備維持修繕料				20,070
消防設備定期点検手数料				315
警備業務委託料				484
清掃業務委託料				2,379
空気調和設備保守点検委託料				2,113
選別設備保守点検委託料				3,990
自動倉庫保守点検委託料				831
脱臭集塵設備保守点検委託料				2,328
敷地内植栽管理業務等委託料				1,680

◎減量化・資源化の経費

分別収集運営事業

【

資源循環課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量化・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 収集処理事業

- ・収集処理事業として、資源物やごみを品目別に分別収集し資源化を図った。
- ・クリーンステーションのごみ散乱やカラス被害を防止するため、ごみ散乱防止ネットを貸し出した。
- ・名越・今泉クリーンセンターの収集運搬業務の一部を民間委託した。

(2) 分別収集施設・設備運営事業

- ・燃えないごみ、危険・有害ごみの資源化を行う施設・設備の管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙類等の資源化(3-3-2-①)

ペットボトル・容器包装プラスチックの資源化(3-3-2-②)

ごみの収集・運搬業務の民間委託化(3-3-3-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
721,940	711,866	706,970		4,896
主な支出内訳				
・収集処理事業				
ごみ散乱防止ネット等消耗品費				305
ペットボトル中間処理業務委託料				26,620
容器包装プラスチック中間処理業務委託料				95,243
容器包装プラスチック収集運搬業務委託料				69,279
紙類等資源物処理業務委託料				175,753
容器包装処理業務委託料				4,595
廃蛍光管資源化処理業務委託料				2,433
不燃ごみ資源化処理業務委託料				84,359
木製家具等資源化処理業務委託料				6,904
資源物(カン・ビン)収集及びコンテナ配布業務委託料				122,048
廃乾電池資源化処理業務委託料				3,204
鉄屑類等資源化処理業務委託料				5,169
名越・今泉クリーンセンター一部収集運搬委託料				101,273
植木剪定材排出増量分対応収集運搬業務委託料				2,117
粗大ごみ等収集用シール販売委託料				1,073
フロンガス破壊処理委託料				0
クリーンステーション看板作成委託料				1,491
リターナブルビン処理業務委託				1,542
年末年始用チラシ各戸配布業務委託料				434

・ 分別収集施設・設備運営事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,008

事務補助嘱託員費用弁償

97

不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料

1,022

鹿嶋市環境保全協力金

212

主な特定財源

・ 国県支出金

447

ごみの搬入量

(単位:t)

区分 年度	家庭系ごみ				事業系ごみ				合計
	燃やす ごみ	燃えない ごみ等	粗大・臨 時ごみ	計	直営収集 ごみ	許可業者 収集ごみ	持込ごみ	計	
22	24,446	1,536	2,476	28,458	132	13,095	792	14,019	42,477
21	24,471	1,430	2,160	28,061	122	13,001	779	13,902	41,963
20	24,955	1,483	2,305	28,743	115	12,832	796	13,743	42,486

資源物の搬入量

(単位:t)

区分 年度	飲食用 カン・ビン	ミックスペー パー ・紙パック	容器包装 プラスチック	ペットボトル	植木剪定 材	新聞・雑 誌・段ボール・布類	計
22	2,115	2,703	2,158	487	11,439	8,455	27,357
21	2,123	2,768	2,163	471	11,177	8,694	27,396
20	2,137	2,840	2,211	474	11,065	9,357	28,084

ごみの焼却量(名越・今泉クリーンセンター実量)

(単位:t)

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
焼却量	39,007	40,173	40,389

家庭ごみ(粗大ごみ等を除く)及び資源物の搬入量

(単位:kg)

区分 年度	20年度		21年度		22年度	
	ごみ	資源物	ごみ	資源物	ごみ	資源物
1世帯当たり	367	390	355	376	359	378
1人当たり	152	162	149	157	149	157

◎減量化・資源化の経費

植木剪定材堆肥化事業

【

資源循環課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市内で発生する植木剪定材を堆肥化することにより、循環型社会の形成を目指すため。

効果 植木剪定材を堆肥化することにより、ごみの減量化・資源化が図られるとともに、生成した堆肥を市民へ配布することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 植木剪定材堆肥化事業

- ・ 市民及び造園業等事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで搬送し、処理を行った。
- ・ 処理を行った植木剪定材を委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

植木剪定材の資源化(3-3-2-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
146,208	140,766	139,451		1,315

主な支出内訳

・ 植木剪定材堆肥化事業

植木剪定材受入事業場維持修繕料

263

植木剪定材堆肥化事業業務委託料

137,041

◎減量化・資源化の経費

減量化資源化運営事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 市民、事業者、行政が協働して、3R事業の施策を展開することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 減量化資源化運営事業

- ・ 3R推進事業奨励金交付事業として、ごみの発生抑制及び減量・資源化事業に協力する自治町内会に対して奨励金を交付した。
- ・ 一般家庭向けの啓発事業として、環境ニュースの発行、出前説明会の開催、環境教育、ごみダイエツ展、キャンペーン等を実施した。
- ・ 事業所向けの啓発事業として、研修会の開催、パンフレットの配布及び訪問指導等を行った。
- ・ 大型生ごみ処理機を小学校、市役所、市営住宅に設置し、生ごみの減量・資源化に努めた。
- ・ 生ごみ処理機購入費補助金を交付し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ごみの発生抑制の啓発(3-3-1-①)

生ごみの排出抑制(3-3-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,768	31,225	29,009		2,216
主な支出内訳				
・ 減量化資源化運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
事業系ごみの発生抑制啓発事業講師謝礼				30
3R推進事業奨励金				4,924
事務補助嘱託員費用弁償				118
啓発用消耗品費				446
環境ニュース印刷製本費				751
資源物50音別分別区分冊子印刷製本費				210
減量化・資源化啓発委託料				1,119
大型生ごみ処理機保守管理委託料				1,928
3Rかるた作成委託料				331
大型生ごみ処理機賃借料				1,140
生ごみ処理機購入費補助金				14,227

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

バイオマスエネルギー回収施設整備事業

環境施設課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 ゼロ・ウェイストかまぐらの実現に向けたバイオマスエネルギーの有効利用等のため。

効果 生ごみ等及び下水汚泥の減量化・資源化を図り、循環型社会の形成を推進する。また、化石燃料を使わないクリーンなエネルギーの活用により、地球温暖化の防止に貢献する。

【事業の内容】

(1) バイオマスエネルギー回収施設整備事業

- ・一般廃棄物に含まれる生ごみ等及び下水汚泥を集約処理し、バイオガス化によるエネルギー回収を行う施設の整備に向けた生活環境影響調査の図書を作成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

バイオマスエネルギー回収施設の整備(3-3-2-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,409	22,572	10,320		12,252

主な支出内訳

- ・ バイオマスエネルギー回収施設整備事業

生活環境影響調査業務委託料

10,290

バイオマス事業負担金

0

財団法人廃棄物研究財団負担金

30

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎し尿一般の経費

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 深沢クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) 深沢クリーンセンター管理運営事業

・ 深沢クリーンセンターでのし尿の処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,390	10,390	8,948		1,442
主な支出内訳				
・ 深沢クリーンセンター管理運営事業				
電気料				3,814
水道料				2,926
警備業務委託料				484
窓ガラス等清掃業務委託料				66
ファクシミリ付複写機保守点検業務委託料				34
下水道負担金				1,265

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎収集の経費

し尿収集事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) し尿収集事業

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,239	25,162	23,418		1,744

主な支出内訳

・し尿収集事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,008

事務補助嘱託員費用弁償

66

し尿収集運搬業務委託料

22,078

し尿処理手数料徴収業務委託料

266

し尿等の処理量

(単位:kl)

年度	区分	し 尿	浄化槽汚泥	合計
22		1,371	3,675	5,046
21		1,499	3,849	5,348
20		1,658	4,009	5,667

※し尿収集業務は、平成18年度から全て委託になりました。

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎処理の経費

し尿処理事業

【 深沢クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) し尿処理事業

・し尿及び浄化槽汚泥の放流処理施設の運転及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,265	17,265	17,040		225
主な支出内訳				
・し尿処理事業				
薬剂等消耗品費				2,446
施設維持修繕料				9,904
残土処分業務委託料				156
脱臭用活性炭交換業務委託料				3,509
オーバースライダー定期点検業務等委託料				90

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

環境部のうち環境政策課(環境政策担当)・環境保全課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		177,949
・ 給料	一般職	85,377
	一般職職員	19人
	再任用(短時間)	2人
・ 職員手当等		65,225
	扶養手当	2,893
	地域手当	13,382
	通勤手当	2,239
	超過勤務手当	4,387
	休日給	33
	管理職手当	941
	特殊勤務手当	615
	期末勤勉手当	34,553
	住居手当	4,437
	児童手当	120
	子ども手当	1,625
・ 共済費		27,347
	市町村職員共済組合負担金	26,783
	社会保険料	486
	雇用保険料	78

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

環境美化事業

【

環境保全課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみ・不法投棄をさせないまちづくりが促進されるとともに、散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 環境美化事業

- ・公共の場所への不法投棄物の回収・処理業務、市内に設置した観光ごみ等分別式容器のごみ回収業務を行った。

(2) 海岸清掃事業

- ・(財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,873	23,873	23,644		229
主な支出内訳				
・環境美化事業				
不法投棄物(家電リサイクル法適応分)処理手数料				166
観光ごみ等拠点回収業務委託料				5,005
花火大会翌日集積ごみ回収処理業務委託料				100
不法投棄物処理業務等委託料				89
・海岸清掃事業				
(財)かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金				17,965

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

公衆トイレ清掃事業

【

環境保全課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公衆トイレの維持、清掃を通じまちの美化を推進、良好な都市環境を向上させるため。

効果 快適で清潔なトイレの実現が図られる。

【事業の内容】

(1) 公衆トイレ清掃事業

・ 公衆トイレ(37箇所)の日常清掃業務及び維持管理業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,986	42,486	40,130		2,356
主な支出内訳				
・ 公衆トイレ清掃事業				
公衆トイレ電気料				1,153
公衆トイレ水道料				13,179
公衆トイレ維持修繕料				660
公衆トイレ清掃業務委託料(公衆トイレ37箇所)				23,295
公衆トイレ消臭器保守点検業務委託料				843
汚物水中ポンプ槽内清掃業務等委託料				515
公衆トイレ電気料負担金				293

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

美化運動事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 落書きや、吸い殻などの散乱ごみがない美しいまちの形成が推進される。

【事業の内容】

(1) 美化運動事業

- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙防止指導員を配置し、路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

まち美化の推進(3-3-4-①)

路上喫煙防止の推進(3-3-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,295	13,295	12,435		860
主な支出内訳				
・ 美化運動事業				
路上喫煙防止指導員報酬 7人				7,603
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
まち美化推進協議会委員報酬 10人				52
まち美化清掃活動奨励金				1,195
まち美化推進員報償費				230
路上喫煙防止指導員費用弁償				623
事務補助嘱託員費用弁償				53
清掃用具等消耗品費				380
喫煙場所灰皿清掃業務委託料				613
路面啓発シート作成業務委託料				122
クリーンアップごみ回収処理業務委託料				160
落書きのないまちづくり事業負担金				150

◎環境政策の経費

環境基本計画推進事業

【

環境政策課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を推進するため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標の達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させる。

【事業の内容】

(1) 環境基本計画推進事業

- ・環境審議会で、環境白書により環境基本計画の年度毎の進行状況を把握した。
- ・地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、「かまくら環境保全推進会議」を通じて、環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・環境経営システムを推進するため、エコアクション21普及アドバイザーを事業所に派遣しエコアクション21導入に向けて指導を行った。
- ・環境教育の推進を図るため、環境教育アドバイザー等を派遣した。
- ・雨水の利用を推進するため、雨水貯留槽の設置経費の助成を行った。
- ・市民を対象とした太陽光発電設備設置費用の助成を行い、再生可能エネルギー等の導入を促進するとともに、学習会等の開催及び「緑のカーテン」の普及などを通じて市域の地球温暖化対策を推進した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

環境政策の推進(3-3-6-①)

環境教育の推進(3-3-6-②)

雨水利用の促進(3-3-6-③)

太陽光発電設備助成(3-3-6-④)

地球温暖化対策の推進(3-3-6-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,101	11,101	10,016		1,085
主な支出内訳				
・環境基本計画推進事業				
環境審議会委員報酬 11人				568
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
環境保全に関する講師等謝礼				36
かまくら環境保全推進会議委員謝礼				69
エコアクション21普及アドバイザー等謝礼				165
環境教育アドバイザー等講師謝礼				400
環境審議会委員費用弁償				90
事務補助嘱託員費用弁償				96
「緑のカーテン」購入費				69
新聞・ダンボール・クラフト・牛乳パック回収運搬料				1,308
雨水貯留槽購入費補助金				450
太陽光発電設備設置費補助金				5,500

主な特定財源
・ 国県支出金

2,750

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎公害対策一般の経費

環境保全事業

【

環境保全課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【事業の内容】

(1) 環境保全事業

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び改善勧告命令を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実を図った。
- ・環境保全団体等に対する通信費助成及び環境保全団体等が行う学習会等への講師の派遣助成を行った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽設置の周知を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深夜花火の防止の普及(3-3-5-①)

生活排水設備の整備(3-3-5-②)

環境政策の推進(3-3-6-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,494	9,938	6,796		3,142
主な支出内訳				
・環境保全事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,001
環境保全団体活動促進講師謝礼				41
事務補助嘱託員費用弁償				47
環境保全啓発小冊子等印刷製本費				57
地盤沈下精密水準測量調査業務委託料				546
自動車排出ガス等環境調査業務委託料				2,121
河川水質調査業務委託料				418
有害大気汚染物質分析業務委託料				307
大気中二酸化窒素濃度調査試料分析業務等委託料				510
深夜花火巡回警備業務委託料				1,243
合併処理浄化槽設置補助金				0
主な特定財源				
・国県支出金				372

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

衛生・害虫駆除事業

【

環境保全課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 衛生・害虫駆除事業

- ・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,053	4,053	3,847		206

主な支出内訳

・衛生・害虫駆除事業

有害虫駆除相談臨時的任用職員賃金	266
害虫駆除用薬剤等消耗品費	2,420
車両等燃料費	440
車両修繕料	380
佐助墓地除草業務委託料	215

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

犬の登録等事業

【

環境保全課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 犬、猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【事業の内容】

(1) 犬の登録等事業

- ・犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・犬の登録促進について、広報かまくら等により周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・猫の不妊去勢手術を勧奨し、飼い主のいない猫の繁殖の防止を図った。
- ・犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレートの配布などにより啓発を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,942	4,942	4,527		415
主な支出内訳				
・犬の登録等事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
集合注射受付事務等臨時的任用職員賃金				552
事務補助嘱託員費用弁償				65
犬の登録事務等消耗品費				349
犬の登録・注射促進協力等業務委託料				844
湘南獣医師会補助金				180
猫に対する不妊去勢手術補助金				898
飼い主のいない猫対策事業補助金				424

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

鳥獣保護管理対策事業

【

環境保全課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【事業の内容】

(1) 鳥獣保護管理対策事業

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣を捕獲、または捕獲されたものの県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タヌキなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,284	8,109	7,967		142
主な支出内訳				
・鳥獣保護管理対策事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
非常勤嘱託員報酬 1人				0
事務補助嘱託員費用弁償				124
非常勤嘱託員費用弁償				0
現場作業等消耗品費				343
有害鳥獣駆除等業務委託料				5,484
主な特定財源				
・国県支出金				2,579